

## (別記3-1)

### 市町村が行う対象組織の農地維持活動及び資源向上活動の実施状況の確認について

#### 第1 農地維持活動の実施状況確認

市町村長は、対象組織の協定に定められている農地維持活動の実施状況の確認について、1の書類確認及び2の現地確認により行うものとする。

##### 1 書類確認

- (1) 市町村長は、毎年度、農地維持活動に取り組む全ての対象組織について、実施状況報告書及び添付書類に基づき、対象活動が適正に行われていることを確認する。
- (2) 市町村長は、あらかじめ、荒廃農地の発生・解消状況に関する調査（平成20年4月15日付け19農振第2125号農村振興局長通知に基づく調査。平成24年12月25日までは「耕作放棄地全体調査」として実施。以下「荒廃農地調査」という。）の調査結果等を活用し、対象組織の協定農用地における遊休農地発生防止のための保全管理を行う必要のある農用地の有無を確認するものとする。
- (3) 書類確認は、実施状況確認チェックシート（別記3-1様式第1号）を活用して実施する。

##### 2 現地確認

###### (1) 現地確認の方法

ア 市町村長は、毎年度、協定に定められている全ての農用地及び対象施設の保全管理状況について、現地見回りにより確認を行う。

イ 市町村長は、現地確認を円滑に実施するため、協定に定められた協定農用地及び対象施設の保全管理状況の現地確認に必要な事項について、協定農用地確認野帳（別記3-1様式第2号）を作成する。

###### (2) 現地確認の事前準備等

ア 市町村長は、協定に定められている農用地及び対象施設の保全管理状況を確認するため、確認の時期、確認体制、確認の方法等について、あらかじめ具体的な計画を策定するものとする。

イ 市町村長は、現地確認を円滑に実施するため、必要に応じて土地改良区等の関係機関への協力を要請するものとする。

ウ 市町村長は、現地確認を円滑に行うため、協定農用地の範囲を確認可能な図面を整備するものとする。

###### (3) 現地確認

ア 現地確認は、協定農用地及び対象施設ごとに、(1)のイの確認野帳により所要の事項を確認する。

イ 現地確認に当たっては、必要に応じて対象組織の構成員及び土地改良区等の関係機関の立会を求めることができる。

#### 第2 資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)の実施状況確認

市町村長は、対象組織の協定に定められている資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）の実施状況の確認について、1の書類確認及び2の現地確認により行うものとする。

##### 1 書類確認

- (1) 市町村長は、毎年度、資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）に取り組む全ての対象組織について、実施状況報告書及び添付書類に基づき、対象活動が適正に行われていることを確認する。
- (2) 書類確認は、実施状況確認チェックシート（別記3-1様式第1号）を活用して実施する。

## 2 現地確認

### (1) 現地確認の方法

- ア 市町村長は、資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）に取り組む対象組織について、書類確認の結果等、必要に応じて現地確認を実施する。
- イ 市町村長は、現地確認を円滑に実施するため、資源向上活動実施状況確認チェックシート（現地確認用）（別記3-1様式第3号）を作成する。

### (2) 現地確認の事前準備等

- ア 市町村長は、対象組織の対象活動の実施状況を確認するため、確認の時期、確認体制、確認の方法等について、あらかじめ具体的な計画を策定するものとする。
- イ 市町村長は、現地確認を円滑に実施するため、必要に応じて土地改良区等の関係機関への協力を要請するものとする。

### (3) 現地確認

- ア 現地確認は、対象農用地及び対象施設ごとに、(1)のイの資源向上活動実施状況確認チェックシート（現地確認用）を活用しつつ、資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）の実施状況を確認する。
- イ 現地確認に当たっては、必要に応じて対象組織の構成員及び土地改良区等の関係機関の立会を求めることができるものとする。

## 第3 資源向上活動（施設の長寿命化のための活動）の実施状況の確認

市町村長は、対象組織の協定に定められている資源向上活動（施設の長寿命化のための活動）の実施状況の確認について、1の書類確認及び2の現地確認により行うものとする。

## 1 書類確認

- (1) 市町村長は、毎年度、資源向上活動（施設の長寿命化のための活動）に取り組む全ての対象組織について、実施状況報告書及び添付書類に基づき、対象活動が適正に行われていることを確認する。
- (2) 書類確認は、資源向上活動実施状況確認チェックシート（別記3-1様式第4号）を活用して実施する。

## 2 現地確認

### (1) 現地確認の方法

- ア 市町村長は、資源向上活動（施設の長寿命化のための活動）に取り組む全ての対象組織について、当該対象組織の活動期間中に、一回以上現地確認を実施する。
- イ 市町村長は、現地確認を円滑に実施するため、資源向上活動（施設の長寿命化のための活動）実施状況確認チェックシート（現地確認用）（別記3-1様式第5号）を作成する。

### (2) 現地確認の事前準備等

- ア 市町村長は、対象組織の対象活動の実施状況を確認するため、確認の時期、確

認体制、確認の方法等について、あらかじめ、具体的な計画を策定するものとする。

イ 市町村長は、現地確認を円滑に実施するため、必要に応じて土地改良区等の関係機関への協力を要請するものとする。

### (3) 現地確認

ア 現地確認は、対象農用地及び対象施設ごとに、(1)のイの資源向上活動（施設の長寿命化のための活動）実施状況確認チェックシート（現地確認用）を活用しつつ、資源向上活動（施設の長寿命化のための活動）の実施状況を確認する。

イ 現地確認に当たっては、必要に応じて対象組織の構成員及び土地改良区等の関係機関の立会を求めることができるものとする。

## 第4 農地維持支払交付金を受けずに行う水路・農道等施設の保全管理活動の実施状況確認

市町村長は、要領第2の4の(1)に掲げる対象組織について、地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理活動の実施状況について、以下のとおり、現地確認を行うものとする。

### 1 現地確認の方法

(1) 市町村長は、毎年度、農地維持支払交付金の交付を受けずに資源向上活動を行うすべての対象組織について、資源向上支払交付金の対象農用地及び対象施設の保全管理状況について、現地見回りにより確認を行う。

(2) 市町村長は、あらかじめ、荒廃農地調査の調査結果等を活用し、対象組織の対象農用地における遊休農地発生防止のための保全管理を行う必要のある農用地の有無を確認するものとする。

(3) 市町村長は、現地確認を円滑に実施するため、協定に定められた対象農用地及び対象施設の保全管理状況の現地確認に必要な事項について、確認野帳（別記3-1様式第2号）を作成する。

### 2 現地確認の事前準備等

(1) 市町村長は、対象農用地及び対象施設の保全管理状況を確認するため、確認の時期、確認体制、確認の方法等について、あらかじめ具体的な計画を策定するものとする。

(2) 市町村長は、現地確認を円滑に実施するため、必要に応じて土地改良区等の関係機関への協力を要請するものとする。

(3) 市町村長は、現地確認を円滑に実施するため、対象農用地の範囲が確認可能な図面を整備するものとする。

### 3 現地確認

(1) 現地確認は、対象農用地及び対象施設ごとに、1の(3)の確認野帳により所要の事項を確認する。

(2) 現地確認に当たっては、必要に応じて、対象組織の構成員及び土地改良区等の関係機関の立会いを求めることができるものとする。

## 第5 確認結果の通知等

市町村長は、第1から第4までの書類確認及び現地確認を終了後、確認後のチェックシート及び確認野帳については、実施状況確認報告書（様式第1-10号）に添付して事業実施主体に提出するとともに、確認通知書（別記3-1様式第6号）に添付して対象組織に送付する。

## 第6 確認業務の委託

市町村長は、第1から第4までの確認業務について、次の要件を満たす組織に委託することができる。ただし、この場合においても、市町村長は委託を受けた組織において確認業務が適切に行われていることについて確認するものとする。

- 1 法人格を有していること。
- 2 実施確認に必要な技術的な能力を有していること。
- 3 実施確認を適正に行うための手続、体制等に関する規約その他の規定が定められていること。
- 4 対象組織の構成員でないこと。